

社会科学学習指導案

単元名 「情報を生かすわたしたち」[学指要領：(4)ア―(イ)(ウ)・イー(イ)]

令和6年12月5日(木) 第5校時 音楽室

I 単元の構想

1 身に付けさせたい資質・能力および児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
知識及び技能	情報活用の仕方について、各種資料で調べたりまとめたりする活動を通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解できる。	削除
思考力、判断力、表現力等	情報活用の仕方に着目して、情報化の進展による課題や適切な活用の仕方を捉え、情報活用の在り方について考え、表現することができる。	削除
学びに向かう力、人間性等	情報活用の在り方について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。	削除

2 目標

情報活用の仕方について着目し、各種資料で調べたり、情報化の進展による課題や適切な活用の仕方について考え表現したりすることを通して、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 評価規準

【知識・技能(ア)】

- ①情報活用の仕方について、各種資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展による課題や適切な活用の仕方を理解している。
- ②調べたことを文にまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解している。

【思考・判断・表現(イ)】

- ①学習してきたことを総合して、情報活用の在り方について考え、表現している。

【主体的に学習に取り組む態度(ウ)】

- ①情報活用の在り方について、予想や学習計画を立て、見通しをもって追究し、解決しようとしている。
- ②学習したことをもとに、これからの生活で情報をどのように活用していくべきか考えようとしている。

4 単元計画および指導方針

(1) 教材観

本単元は、情報活用の仕方について調べ、よりよい情報活用の在り方を考える単元である。ここでは、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを考えていく中で、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、情報活用の在り方について考え表現する力を高めることが期待できる。これからの時代を生きていく子どもたちが、よりよい情報の受け手・送り手

として、情報をどのように活用するべきか考えることを通して、よりよい社会を実現していこうとする態度を養っていきたい。

(2) 指導観

児童が「情報を正しく活用できるようにならなければいけない」と感じることができるよう、「つかむ」過程で小学生対象の統計資料を提示し、どのようなことが読み取れるか問いかける。また、学習問題に対する結論をまとめた後、これから情報を正しく活用する時に大切にしたいことを考える。その際、学習したことを根拠に考えることができるように、各小単元のまとめを整理した図を提示する。さらに、友達と考えを交流する活動で、友達の考えについてメモを取ることができる枠と自分の考えをまとめ直す枠が一体となったワークシートを活用することで、自分では気付かなかったことに気付いたり考えを再検討したりして学びを深めることが期待できる。

(3) 人権教育とのかかわり

近年、パソコンやスマートフォンの普及により、インターネットやSNSを利用したいじめや犯罪などの問題が増加傾向にある。そのため、高学年段階では、インターネットの利用を通して他人を傷つける問題が起きることや、適切な活用の仕方を理解し、情報をどう活用するべきか考えることが重要である。

そこで、本単元では、「情報を正しく活用するために大切にしたいこと」について友達と考えを交流することを通して、他者の考えや情報を判断し、自分の考えを整理できるようにする。また、児童の考えに対して肯定的にフィードバックすることで、実践意欲を高めたい。

(4) 指導と評価の計画（5時間）

時	過程	学習活動	評価	指導方針
1	つかむ	○資料をもとに話し合い、学習問題をつくって学習計画を立てる。	(ウ)①	・情報活用の仕方について調べる必要感をもてるように、小学生が対象のインターネットトラブル件数に関する統計資料を提示する。
		【学習問題】 情報を正しく活用するためには、どうすればよいのだろうか。		
2・3	追究する	○インターネットの利用によって起こり得る問題を調べ、情報活用の仕方について話し合う。 ○インターネットを活用した学習で気を付けることについて調べる。	(ア)①	・情報活用にはルールやマナーを守ることが大切だと気付けるように、話し合った情報活用の仕方をルールとマナーに分類して板書する。 ・メディアリテラシーを身に付けることの大切さに気付けるように、視点を提示する。
4	まとめる・いかす	○学習問題に対する自分の考えを文章にまとめる。 ○これから情報を正しく活用するときに大切にしたいことを考える。	(ア)② (イ)①	・調べたことをもとに自分の考えをもてるように、各単位時間や各小単元のまとめを整理した図をもとに考えるよう促す。
5 本時		○情報を正しく活用するために大切にしたいことについて話し合い、自分の考えを深める。	(ウ)②	・自分の考えを深めるために、他者の考えに触れる場を設定し、自分の考えを再検討するよう促す。

Ⅱ 本時の学習

〈ねらい〉

情報活用の在り方について、グループで話し合ったことをもとに自分の考えを再検討する活動を通して、情報を正しく活用するために大切にしたいことを考え生活に生かそうとする態度を養う。

〈人権教育の視点〉

○判断力：他者の考えや情報を踏まえ、自分の考えを整理し、情報活用の在り方について考えることができる。

○実践力：情報化の進展による課題に気づき、適切に情報を活用しようとする。

〈板書計画〉

12/5 めあて 情報を正しく活用するために大切にしたいことについて話し合い、自分の考えを深めよう。	〈話し合いの流れ〉 ～自分の考えを深める材料を見つけよう～ ①話：考えと理由を伝える。 聞：自分の考えにないことをメモする。 ②もっとくわしく知りたいこと、 ぎ間に思ったことについて質問し合う。 例) なぜ〇〇を大切にしたいと考えたのですか。 なぜ〇〇を理由に入れたのですか。	〈ふり回り〉 ・これからどのように生活していきたいか (理由も)
--	---	--

〈展開〉

学習活動	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。(5分) T：前回の授業の後半で、何について考えましたか。 S：情報を正しく活用するために大切にしたいこと。 T：学習計画では、今日はどのような学習をしますか。 S：情報を正しく活用するために大切にしたいことについて話し合い、自分の考えを深めます。	・本時のめあてをつかめるように、学習計画を確認するよう促す。
〈めあて〉 情報を正しく活用するために大切にしたいことについて話し合い、自分の考えを深めよう。	
2 グループでそれぞれの考えについて話し合う。(15分) T：グループでそれぞれの考えと理由について話し合います。何のために話し合いますか。 S：自分の考えを深めるため。 T：考えを深めるには、友達の考えを聞くときにどんなことに気をつけて聞くとよいですか。 S：自分の考えと違うところ。 T：では、聞く人は自分の考えと友達の考えを比べ、自分の考えにないことをメモしましょう。全員説明できたら、残りの時間でもっと	・全員がやることを理解し、話し合いが円滑に進むように、話し合いの目的と進め方を提示する。 ・自分の考えにないことを見つけやすくするために、自分の考えを友達に見せながら伝えるよう促す。 ・質問し合えるように、質問の文例を提示する。

詳しく知りたいことや疑問に思ったことを質問しましょう。 S：情報を受け取る人の気持ちを考えることは書かなかったな。 S：情報が正しいか確認することは書いたけど、複数の情報を見比べることは書いていなかったな。 S：確かに、いじめや犯罪だけでなく、報道被害も起きてしまうな。 S：大切なことがいくつかある中で、なぜそれが大切だと考えたのですか。 3 話し合ったことをもとに、自分の考えを再検討する。(15分) T：メモしたことの中で、納得した上で自分の考えや理由に取り入れたいことに赤線を引きましょう。 S：傷つく人が出ないように情報を受け取る人の気持ちを考えて発信することも大切だから線を引こう。 S：報道被害も起きる可能性があるから線を引こう。 T：線を引いたことを踏まえて、自分の考えをまとめ直しましょう。 S：大切なことに、情報を受け取る人の気持ちを考えることを追加しよう。 S：理由に報道被害を付け足そう。	- 自分の考えを深める材料を得られるように、机間指導しながら自分の考えや理由にはないことをメモするよう促す。 - 様々な材料を得られるように、自分と異なる考えの友達に詳しく知りたいことや疑問に思ったことを質問するよう促す。 - 友達の考えのよさを自分の考えに取り入れることができるように、メモした中から取り入れたいことに赤線を引くよう促す。【判断力】 - 赤線を引く判断基準を明確にするために、自分が大切だと判断したことや自分の考えをより具体的にする言葉に線を引くことを押さえる。【判断力】 - 最終的な自分の考えをまとめられるように、机間指導しながら赤線を引いた内容をどこに追加するか、どう書き換えるか問いかける。 【評価項目(ウ)②】(ワークシート) 情報を正しく活用するために大切にしたいことを考え生活に生かそうとしている。 - 考えたことをこれからの生活で意識していこうと思えるようにするために、机間指導で見たことをもとに肯定的にフィードバックする。【実践力】
4 本時の学習を振り返る。(10分) T：今日の学習を踏まえて、これからどのように生活していきたいかについて振り返り、理由も併せて書きましょう。 T：2分間で、自分が書いた振り返りをいろいろな友達と伝え合い、情報活用宣言をしましょう。	- 本時での学びを自覚できるように、振り返りの視点を示す。 - これから実践していこうと思えるように、振り返りで書いたことを声に出して友達と伝え合うよう促す。【実践力】
<振り返り> 情報によって傷つく人が出ないようにするために、いくつかの情報を見比べて何が正しいか冷静に判断して生活に生かしたり、相手の気持ちを考えて情報を発信したりすることを大切にしたい。	